

野田市 農業委員会だより

第41号

編集・発行 野田市農業委員会 〒278-8550 野田市鶴奉7-1 ☎04(7123)2128

新規就農者を訪ねて

木野崎に就農した「としまさファーム」の中島俊貴さん(左)と一緒に仕事をしている友人の伊藤賢弥さん(右)



取材の様子：

右から伊藤賢弥さん、中島俊貴さんと木村推進委員

3年前に新規就農した「としまさファーム」の中島俊貴さんと、ご友人と一緒に働いている伊藤賢弥さんを訪ねました。

中島さんと伊藤さんは坂東市在住ですが、坂東市では手頃な土地が見つからず、隣の野田市に相談したところ、野田市農業委員会の伝手で条件に合う土地が見つかり就農されました。

中島さんは7年間タイで仕事をしていた経験があり、その生活の中でタイ料理に興味を持ち、タイ料理の具材の野菜を自分で作ってみたいという思いから、帰国後、坂東市にあるタイ人の農家で研修を受けたそうです。

中島さんが現在作付けしている主な作物は、空心菜、パクチー、ホーリーバジル、スイートバジル、タイの丸茄子、ササゲ、青パパイヤ、カイラン菜などを、約5,000㎡の畑で栽培しています。

どれもタイ料理にかかせない野菜ですが中島さんから、空心菜やホーリーバジルなどは、何度も収穫ができる効率のよい作物だとの話がありました。

作物の販売については、ネット販売をしていたところ、都内の大きいタイ料理のレストランから注文を受けるようになり、今では都内のいくつかのレストランから定期的に注文を受けるまでになったそうです。

現在、二人で畑作業をしています。一番の困りごとは天候不順だそうです。中島さん達の畑には水路がなく、トラックで水を積んで水撒きをしているということです。昨今の天候では大変な作業になっていると想像できます。

二人の将来の夢を伺いましたが、今の顧客を大切にしながら、従業員を増やして規模の拡大につなげたいと語ってくれました。

まだまだ若いお二人、これからの農業を支えてくれると期待が持てますので、今後も技術を磨いて、品質の良い野菜を作り続けて欲しいと思います。

取材記事 農地利用最適化推進委員

木村 安雄

令和6年3月に特別支援学校の生徒が使用する 畑地の再生作業を行いました



野田市農業委員会
会長
齊藤 和夫

県立野田特別支援学校で長年にわたり使用していた畑地が、野田市の学校給食施設用地として計画されたことで使用できなくなり、当支援学校から農業委員会事務局に農地のあっせんについて相談がありました。

学校近くの農地を希望していたこともあり、学校近くに住む、前農地利用最適化推進委員の渡野通信廣様に相談したところ、当該地を紹介していただきました。所有者の方は、渡野様様の近所の方で、維持管理に苦慮されていたこともあり、このままでは遊休農地化するおそれもあったことから、快く貸していただくことができました。

当該地の現況は雑草が生えており、畑地として使用するには、手を入れる必要があったことから、農業委員会としても遊休農地の解消と考え、農業委員、農地利用最適化推進委員の数名で除草及び耕うん作業を行いました。

当日は支援学校の先生方も応援に

来ていただき、午前中に作業を終了することができました。
参加していただきました方々に感謝いたします。

支援学校からの感謝のお手紙

千葉県立野田特別支援学校 教頭

猪越 裕

千葉県立野田特別支援学校は、障がいのある子供たちが学ぶ学校です。当支援学校には小学部、中学部、高等部の三つの学部に156名が通っています。

障がいのある子供たちにとって、体験や実践など経験的な学びは大変重要であり、教育課程上、欠かすことのできないものの一つでもあります。

この度、その経験的な学びの場として農地をお貸しくださった地権者様、手続き、除草作業などに携わっていただきました農業委員会会長の齊藤様をはじめ、農業委員、農地利用最適化推進委員の方々には、心よりお礼申し上げます。

お貸しいただいた農地は、高等部の生徒たちが「農業」という授業で活用し、季節ごとの野菜作りに励むことでしょう。

我々教職員も、生徒たちと一緒に農業の大変さと収穫の喜びを感じながら、子供たちの将来の働く力を育ててまいります。



作業後集合写真



作業中



作業前

【農地中間管理事業の仕組み】(農業振興地域の農地に限ります)

農地を貸したいなあ・・・



出し手

借受け

農地中間管理機構

- ①農地を借り受けます
- ②受け手がまとまりのある形で農地を利用できるよう配慮して貸し付けます
- ③必要に応じて、農地の利用条件を改善します

(公社) 千葉県園芸協会

よし、規模拡大しよう!



受け手

貸付け

1月25日表彰レポート

野田市農業委員
川辺 茂

農業振興功労賞をいただいて

農業委員として多年にわたり
努めさせていただき、大変あり
がたく感じております。

私自身は、親の跡を継ぎ現在
まで農業を営んでおります。

平成11年に法人を設立し、
「食」と「農業」をどう守る
か、私たち一人一人が考える時
であると感じていました。

日本では自給率が低下しつつ
あります。食えなければ生きて
いけないのは当然ですが、島国
ということからも、この自給率
を相当上げないと、いざとい
う時に大変な事態を招くとい
うことを、日本全体で分かっ
ていただく必要があると思
います。

日本における食文化は、世界
でも認められており、「食」を
支える日本の「農業」は世界を
リードできる農業だと信じてい

ます。

農業振興功労賞をいただきま
したが、今後の活動としまして
は、引き続き農福連携、大規模
農業の利点を生かし、農地の集
約化を進めながら、スマート農
業を普及して若者の参入も助力
し、日本の食を支える農業を後
世に残せるよう活動していきた
と思います。



受賞される古谷文夫前会長



公共の事に尽力し、その功労特に顕著であったことから、
野田市表彰条例施行規則の基準により、農業振興功労賞が
授与されました



健康スポーツ文化都市

Well-being Sports Culture City

農地利用状況調査・ 利用意向調査の実施

農地利用状況調査を実施

農業委員会では、市内の農地の利用状況調査を行っています。

この調査は年1回実施すること
が法律で定められており、農地が
適切に管理されているかを把握す
るために農

地利用最適
化推進委員
と農業委員
が農地パト
ロールを8
月29日と30
日に実施し
ました。



農地パトロールの様子

「遊休農地の利用意向調査について」

農地利用状況調査の結果、現に
耕作の目的に利用されておらず、
かつ、引き続き耕作の目的に利用
しないと見込まれる農地の所有者
に対して、「今後その農地をどのよ
うに利用していくのか」について確
認するため、11月頃に意向調査を実
施します。

ご協力をお願いします。

農地の賃借料情報

農地を賃貸または賃借するときの賃借料は、一般には貸し手と借り手の話し合いによって決めます。その賃借料の目安として、農業委員会は農地法第52条の規定に基づき賃借料情報を提供しています。

農地の賃借料情報は、農地法第3条の許可申請書や農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画の公告等の資料から収集した1筆ごとの賃借料として情報提供するものです。

令和5年1月から令和5年12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a当たり年額）は、以下のとおりとなっております。

●令和5年1月～令和5年12月賃借料情報

区 分	平均額	最高額	最低額	件 数
田：基盤整備内	17,300円	22,800円	8,500円	79件
田：基盤整備外	10,300円	11,300円	10,000円	5件
畑	10,600円	21,500円	6,800円	159件

※1 データ数は集計に用いた筆数です。

※2 金額は算出結果を四捨五入し、100円単位としています。

株式会社リバースギア
代表取締役
高井 慎平
SHINPEI TAKAI
www.reversegear2014.com
TEL 04-7197-7805 FAX 04-7197-7806 E-mail: info@r-gear.jp
〒278-0031 千葉県野田市中根357

車のこと何でも
ご相談ください。

事業内容

- 車検 ●定期点検 ●オイル交換 ●タイヤ交換
- 板金修理 ●事故保険対応 ●廃車無料引取
- 車両カスタム相談 ●新車販売 ●中古車販売
- オークション代行 ●純正・社外部品取寄せ
- 農機具修理 ●オリジナルパーツ開発・販売

- 定 休 日：毎週火曜日・第3水曜日・イベント開催時日曜
- 営業時間：10時～19時
- 認証工場許可番号 3-5281
- 古物商許可番号 441390000773
- あいおい損保代理店
- (株) スズキ自販千葉正規代理店、スズキ車メーカー保証
- USS オートオークション加入



地域の皆様と共に 貯金・各種ローン・共済

ちば東葛農業協同組合では、
コウノトリと共生する地域づくりを進める
野田市と共に、環境に配慮した農畜産物の
生産を推進しています。

当JAイメージ
キャラクター
ラッキー フラッキー

JAちば東葛
〒277-0861 千葉県柏市高田362番地
TEL 04-7140-2215代 FAX 04-7140-2216
http://www.ja-chibatoukatsu.or.jp/



水稲に玄米黒酢を空中散布しています。
減農薬減化学肥料による
水稲栽培を行っています。

農業者年金の詳しい内容や加入のお申し込みは、農業委員会事務局へお問い合わせください

週刊で発行
忙しい農業者向け **全国農業新聞**

購読料／月700円 申込み／野田市農業委員会事務局
TEL／04-7123-2128